私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

白いまど

2021年
3月1日発行
No.489
March
3

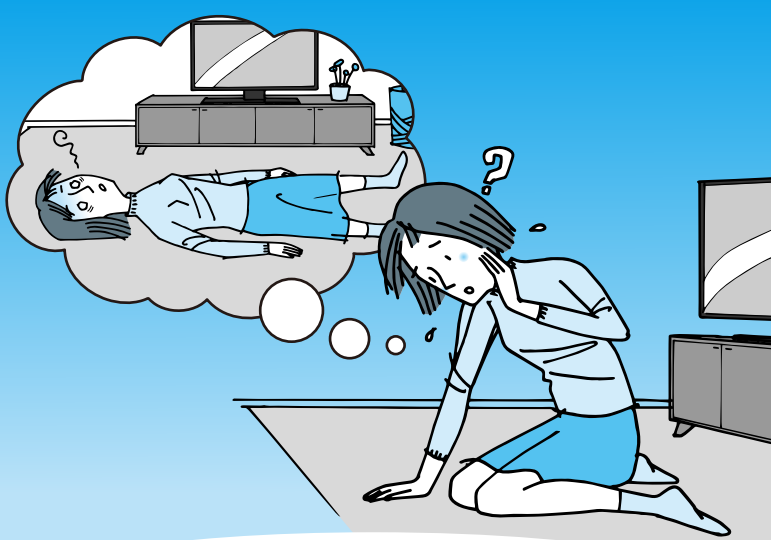
今月の色：パープルデー

特集

意識を失った経験はないですか？ P-1

Supporting Epilepsy Around The World®
3月26日は「パープルデー」

- インフォメーション　P-4
- 診療科・センター紹介　てんかんセンター　P-5
- 診療を支えるスペシャリスト　臨床検査技師　P-6



病院理念　私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
総合病院 聖隷浜松病院

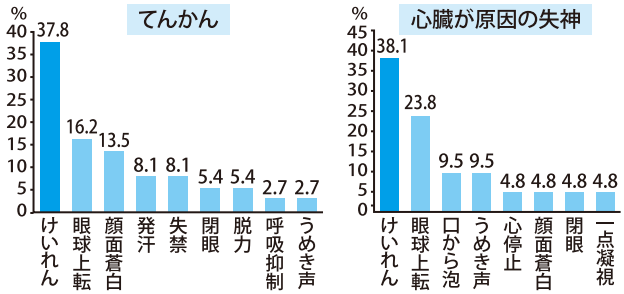
意識を失った経験はないですか?

意識を失う原因にはどのようなものがあるの?

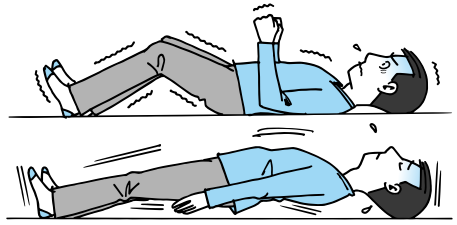
生涯のうち"意識を失う"という経験を実に半数近くの方が経験されています。例えば「頭を強く打った」などはっきりとした原因があれば、脳内に出血などないか確認すれば良いのですが、多くの場合そのまま放置されているのが現状ではないでしょうか。もちろん、意識を失ったまま(意識障害が継続したまま)の場合は何らかの重大な原因があり得るので緊急対応が必要ですが、一過性、つまりほんの短時間意識を失ってもすぐに元に戻った場合にはそのまま「大丈夫だから」という流れで放置されているケースが多いのです。

一時的に意識を失う原因は「てんかん」「心臓が原因の失神」そして「心理的ストレスからの心因性」が90%を占めると言われています。そこで当院ではてんかん科と循環器科で協力して一過性に意識を失った方を詳しく検討しました。結果は、てんかんでも心臓が原因の失神でもそして心因性でも、実に30%以上の方が意識を失った時に「けいれん」を起こしていました。このけいれんには特徴があり、てんかんの場合は強い強直(カチカチ)、心臓が原因の失神の場合は弱い震え(ぷるぷる)、そして心因性には一貫性がないことがわかりました。

症状



てんかん研究　市川、藤本、杉浦らVol.37 no.3 2020



先にも述べましたが、一瞬意識を失ったという方は多いはずです。これを読んでいる方の3人に1人、もしくは2人に1人の確率で起きます。しかし多くの方が原因まで

突き止めていないのではないでしょうか。気になってはいたがそのまま放置をしていたという方が多いですが、病態によっては生命に関わる状況になる可能性もあります。

3月26日は「てんかん」啓発の日

3月26日はパープルデーです。“てんかんをもつ人を1人にしない”をコンセプトとして世界的に活動がされています。今回、当院のパープルデー企画として一過性に意識を失った方に向けて、てんかんの可能性からのお話をしたいと思います。また、てんかんと診断されていた方が心臓（不整脈）の疾患であったり、その逆もあったりします。長期間てんかんの診断で抗てんかん薬を服用されていてもご自身が「何のてんかんなのか」を知らない方も多く、「えっ、てんかんには種類があるんですか！」などと仰る方はとても多いです。

本セミナーはオンラインで手軽に参加できます。できるだけわかりやすくお話しますので是非ご参加ください。（P4インフォメーションをご覧ください）

文責：てんかん科 部長　藤本 礼尚

さらに詳しい情報などを、YouTubeの“聖隷浜松病院チャンネル「白いまど」”で配信予定！

インフォメーション

4月から 失神/一過性意識消失外来を開設

本号特集にもあるように、多くの人が意識を失うにも関わらず「何科に行けば良いのかわからない…」となり、受診せず曖昧なまま、もしくは検査で終了となっているかもしれません。そのような方が迷うことなく受診できるよう窓口を一つにし、脳と心臓からのアプローチを行うべく外来を開設します。

※詳しくはホームページをご覧ください

イベント情報

聖隷浜松病院 てんかんセンター オンライン市民公開講座2021

オンライン開催
参加無料
事前申込制

▶日　時……**2021年3月6日（土）10:00～11:00**
▶問い合わせ…地域医療連絡室（JUNC）※お申し込みなど詳しくはこちら
TEL **053-474-8801**

ライトアップのお知らせ（点灯時間 17:00～21:00）

聖隷浜松病院では、世界緑内障週間・てんかん啓発パープルデーに際し、患者さんや市民の皆さんの疾患に対する関心を高め、正しい理解の普及のため、以下の期間、病院玄関をライトアップします。

- 「世界緑内障週間」グリーンライトアップ
  2021年3月8日（月）～3月14日（日）
- てんかん啓発「パープルデー」パープルライトアップ
  2021年3月22日（月）～3月28日（日）

新任医師紹介

眼形成眼窩外科
クマキリ　マサノリ
熊切　將宜
京都大学
（2014年卒）

診療科・センター紹介

てんかんセンター

薬物治療から外科手術まで一貫したチーム医療

てんかん治療は、ひとつの方法ではなく、いくつもの方法を段階的に組み合わせて行います。

まず「薬物治療」から始めます。内服の薬は30種類近くあります。病状により適切な薬は異なるため、患者さんごとにどの薬が合っているか専門的に判断します。内服薬を試しても病状が改善しない場合には「てんかん外科手術」を検討します。また外科手術のほかに「食事療法」も考えていきます。

さまざまな治療法を進めていくために、医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリセラピスト、臨床検査技師などがチームとなって力を合わせ、よりよい医療を提供していきます。多くの患者さんの症状が快方に向かうことを願っています。

文責：てんかんセンター長　榎 日出夫（写真中央）

診療を支えるスペシャリスト

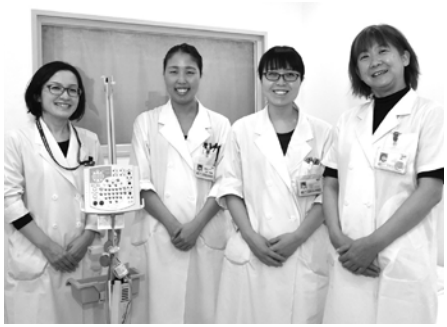
臨床検査技師

診療に役立つ脳波をとるために

臨床検査技師の仕事のひとつに「脳波検査」があります。脳波検査は、脳神経のはたらきが正常に機能しているかを調べる検査です。特に、てんかんの診断を行う上で脳波検査は必要不可欠で、てんかん専門の診療科がある当院では1日に多くの脳波検査を行います。

診療に役立つ脳波検査を提供するために患者さんの状態に合わせながら検査を行い、MRIなどの画像情報と脳波検査の結果が矛盾していないか確認しています。また、外来患者さんの検査だけでなく、2〜5日間入院をして脳波記録を行う「長時間脳波検査」を行ったり、手術室で検査を行ったりすることもあります。

脳波検査についてわからないことがありましたら、お気軽に検査室までご相談ください。



文責：臨床検査部　山田 紗暉（写真左から2番目）・直田 健太郎

聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ　紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科（紹介予約制）がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る**選定療養費**として**5,500円（税込）**を別途負担いただいています。原則として**かかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。**患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ **地域医療連絡室（JUNC）　☎053-474-8801**
（月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00／祝日を除く）

再診の方へ　予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ **外来受付センター　☎053-474-0100**（月～金曜 9:00～16:45）

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、**紹介状は不要**です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ **産科外来（直通）　☎053-474-3067**
（月～金曜 14:00～16:45／祝日を除く）

面会の方へ　現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
  発熱／咳・痰／原因不明の発疹／嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関（電車・バス）をご利用ください。

医師との面談時間について（ご協力のお願い）

原則、平日（月～金曜）8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合（外来診療や手術の延長等）により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
総合病院 聖隷浜松病院
〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222
発行責任者 院長　岡 俊明